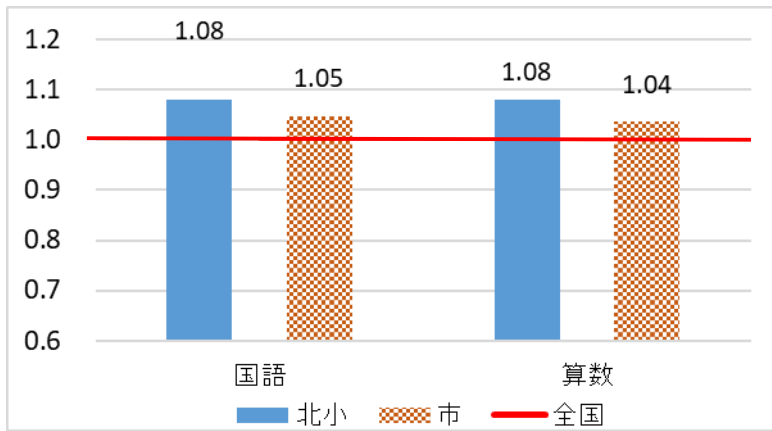


# 令和3年度 全国学力・学習状況調査について

第三中学校区 北小学校

第6学年

○調査結果（全国平均を1とした場合の平均正答率の比）



○調査結果についての分析、今後の改善方策

## 【国語】

「知識及び技能」の「(1) 言葉の特徴や使い方に関する事項」領域の「文の中における主語と述語の関係を捉える」問題と、「思考力・判断力・表現力等」の「書くこと」領域の「目的や意図に応じて、理由を明確にしなが、自分の考えが伝わるように書き表し方を工夫する」問題が全国平均を上回る結果であった。今後も作文指導を通し、根拠に基づく自分の考えを表現する学習に取り組む。

## 【算数】

「数と計算」領域の「小数を用いた倍についての説明を解釈し、ほかの数値の場合に適用して、基準量を1としたときに比較量が示された小数に当たる理由を記述できる」問題と、「データの活用」領域の「帯グラフで表された複数のデータを比較し、示された特徴をもった項目とその割合を記述できる」問題が全国平均より上回る結果であった。引き続き考え方や解き方を文章で説明する学習に取り組む。

## 【質問紙調査】

「自分にはよいところがある」「難しいことでも、失敗を恐れなくて挑戦する」という項目に肯定的回答をした児童の割合が全国平均を下回る結果であった。行事や委員会活動などを通して自己肯定感を高めて自信をつけていく。「授業でICT機器をどの程度使用したか」という質問に「毎日」「週1回以上」と答えた児童の割合が全国平均を大きく上回った。今後はさらに効果的な使用を検討していく。

○学力向上の取組

## 【中学校区】

中学校区で全国学力・学習状況調査の結果を共有し、「主体的・対話的で深い学び」の実現に向けた授業づくりをめざしている。また、学力向上の土台としての「考える力」の育成や、地域とともに児童・生徒が認められる場面を多く作り、児童・生徒の自己肯定感の向上に努めている。

## 【学校】

各学年の学力調査の分析を行い、課題に応じた学年別の対策を実施している。また、自主学習ノートを全学年で行い、家庭学習の定着を図るとともに、放課後学習や懇談時学習会などの学力保障を行っている。授業では話し合いや教え合い活動を取り入れ、「主体的・対話的で深い学び」に繋げている。